

報道関係者各位
プレスリリース

2022年8月16日
日光ケミカルズ株式会社

日光ケミカルズ 化成品事業部 小倉卓
日本油化学会「オレオマテリアル賞」受賞
～界面化学的解析の絵画修復への活用～

日光ケミカルズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 中原秀之）は、同社化成品事業部部長の小倉 卓による当社の界面活性剤を応用した絵画修復への活用技術の功績が認められ、第21回（2022年度）の「オレオマテリアル賞（日本油化学会）」を受賞したことを、お知らせします。

日本油化学会は、油脂・脂質、界面活性剤及び関連物質に関する科学と技術の進歩を図り、産業の発展、生活と健康の向上に寄与する活動をしています。日本油化学会の分科会であるオレオマテリアル部会では、「持続可能な循環型社会の構築に資する、油化学分野における機能性分子の合成や新材料創製に関する技術開発・研究開発、関連する環境も扱う部会」として、日本油化学会で唯一「ものづくり」を専門に扱っており、その活動は油化学関連領域における学問・産業の発展に資する新規分子合成法・機能材料・新製品開発に関する情報提供や意見交換を目的としています。その活動の一つとして、「オレオマテリアル賞」を新材料創製に関する技術開発・研究開発および環境問題等において優れた業績を上げた部会員に対して授与しており、この度、当社化成品事業部部長の小倉氏が受賞いたしました。

受賞理由として、「界面化学的解析の絵画修復への活用（Application of Interface Analysis to Art Restoration）」が挙げられ、小倉氏がイタリアのフィレンツェ大学と進めている界面化学による絵画修復に関する研究と功績が認められたことによります。

本活動が日本油化学会に認められ、同賞を受賞したことは、当社としても大変名誉なことであると存じます。

この名誉ある受賞を受け、小倉氏は、「5月30日に日本油化学会より、『オレオマテリアル賞』の受賞を内示いただきました。本賞は、著名な大学の先生や BtoC の研究者が受賞されることが多く、原料メーカーの研究者としての受賞は稀であり光栄です」とコメントしております。

日光ケミカルズは 2022 年 4 月にグループ会社の株式会社コスモステクニカルセンターと合併し、販売機能と研究開発機能を統合させました。新体制において、パーソナルケア事業に次ぐ第 2 の柱を育成すべく事業部制を導入し、パーソナルケア事業部（国内/海外）、化成品事業部、医薬品事業部、また新規事業開発室を設け、より開発提案型企业として力を入れ、お客様をサポートしてまいります。

当社化成品事業部では、界面活性剤の技術応用により、半導体の精密洗浄や顔料、食品、飲料といった幅広い領域において少量多品種のニーズにお応えしながら、専門性の高い製品、技術を提供しています。

今後も新生・日光ケミカルズ化成品事業部の技術にご期待ください。

<略歴>

小倉 卓 (おぐら たく)



学 歴	2005 年 東京理科大学大学院理工学研究科 修士課程修了
	2009 年 同大学博士課程 博士（工学）取得
職 歴	2005 年 ライオン株式会社 入社 製品開発・機能解明に従事
	2019 年 ライオン株式会社 退社

	2019年 日光ケミカルズ株式会社入社 および 東京理科大学客員准教授就任 現在に至る
専門分野	・可溶化・乳化・リポソーム等の“製剤の質・安定性”に関する溶液構造解析 研究 ・生体コロイド界面化学研究
これまでの 受賞歴	2017年 日本化学会コロイドおよび界面化学部会技術奨励賞 2018年 日本油化学会進歩賞 他

お問い合わせ先

日光ケミカルズ株式会社

広報室 担当：曾根

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-8

E-mail : nk_corporate_communications@nikkolgroup.com